

緑化重点地区《御堂筋周辺地区》 緑化等の方針の修正案について



1. 前回審議会で提示した資料（概要）
2. 前回審議会での主な意見と対応方針
3. 意見を踏まえた修正案

1. 前回審議会で提示した資料（概要）

《御堂筋周辺地区の緑化等の方針（素案）》

— 基本方針 —

大阪のシンボルストリートにふさわしい
風格あるみどり豊かな街路景観の形成

個別
方針
①

大阪の顔にふさわしい
御堂筋のイチョウ並木の
健全な育成

- イチョウ並木の維持管理水準の向上
- イチョウ並木ボリュームと緑陰の連続性確保による
快適な歩行環境の創出

個別
方針
②

にぎわいがあふれ
回遊したくなる
みどりの創出

- 交通結節点におけるみどりの演出と周辺への回遊促進
- 多くの人が訪れにぎわいがあふれる歩行空間の魅力向上
- 地区周辺の近代建築と緑の融合による魅力の向上

個別
方針
③

官民連携による
質の高いみどりの創出

- 地域をはじめ道路協力団体やエリアマネジメント組織による
道路と沿道建物（公開空地）との一体的なみどりの管理
- 緑化活動への参加促進と情報発信

2. 前回審議会での主な意見と対応方針

■ 前回委員からいただいたご意見

- 各団体や地域で作られたビジョンを上手く取り込むことで、より良い緑化等の方針にすることが可能であり、地域の意見と合致した計画になると思う。

「大阪エリアマネジメント活性化会議」（2017.1月発足）の会員のうち、5団体が御堂筋で活動を行っており、これらのまちづくり団体にヒアリングを実施した。

①一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク※

主な活動

- 景観・デザインコントロール
(地域景観づくり協定の運用による良好なまちなみ形成など)
- にぎわい創出活動
(沿道の清掃活動、イベント開催、コンテナガーデンの管理など)
- エリア防災(都市再生安全確保計画の策定、防災訓練など)
- パークレット社会実験(にぎわいと憩いの空間のあり方などを検証)

②NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会※

主な活動

- はなプロジェクト（御堂筋新橋交差点北西角の花壇の維持管理）
- 清掃活動
- 社会実験やシンポジウムの開催

③ミナミまち育てネットワーク

主な活動

- イベント開催（ミナミ学生音楽祭）
- 清掃活動（地元町会等も一緒になった清掃活動）
- エリア防災（セミナーを通じた防災意識の向上など）

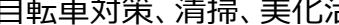
④船場俱樂部

主な活動

- 情報発信
(まちの案内板の設置、船場の歴史や暮らしを紹介するガイドブックの発行)
- イベント開催（船場フォーラム）

⑤一般社団法人 ミナミ御堂筋の会※

主な活動

- 道路の維持・管理活動（放置自転車対策、清掃、美化活動など）
 - 景観形成やイベントへの協力・連携（御堂筋イルミへの協賛など）
 - 情報交換会
- 



2. 前回審議会での主な意見と対応方針

■ 各エリアマネジメント団体へのヒアリング

①（一社）御堂筋まちづくりネットワーク

- 本団体では、緑化事業において行政・沿道ビル担当者・専門家等の協力体制のもと取り組んでいる。各会員がビル前の植栽の日々の灌水をすることで、維持管理の負荷を分散・軽減している。また、活動資金が限られている中で、植栽を宿根草中心にして植え替え頻度を抑えるなどの工夫も行っている。そういった点で、サステナブルなみどりのまちづくりを実践できていると思っている。
- コンテナガーデンの取組みは環境大臣表彰や国土交通大臣表彰など対外的にも評価いただいている。
- 植え替えの際には専門家にもチェックしていただき、綺麗に植え替えできたかどうか講評をいただいている。シカゴ視察の際には、マグマイル協会の取組みについて、特に、歩道上の優れた植栽整備を実施したビルを表彰する制度はとても興味深いと思っている。
- 平野町街園はバナー広告収入を財源として整備した。サスティナブルガーデンをテーマとして柔らかな印象の草花を配置した。おおむね好評をいただいております、この街園を見るために通勤経路を変えるワーカーもいると聞いている

2. 前回審議会での主な意見と対応方針

■ 各エリアマネジメント団体へのヒアリング

② 御堂筋・長堀21世紀の会

- 官民連携といえど新しく花壇ができたとき、管理は地元でといわれるとつらい。現在活動している新橋の交差点の花壇管理もマンパワーが不足している。企業参入のインセンティブをぜひ取り入れてほしい。当団体はみどネットさん同様に広告収入を一部充てている。
- 申請の一括化、制度統括をしてほしい。ウォーカブルの申請、花壇管理、道路管理とそれぞれで窓口が異なって事務手間が多い。
- みどりの管理パターンとしては、大阪市管理／エリマネ管理／スポンサー花壇（道路協力団体が管理）、の3種が想定される。（道路協力団体はマンパワーがないためスポンサー花壇に頼らざるを得ない。）
- スポンサー花壇のインセンティブは、花壇への企業広告だけでは弱い。固定資産税の減免や、企業版ふるさと納税といった他のインセンティブが必要。
- 御堂筋に面している企業は、自分の前のみどりを頑張りたいと思うが、面していない企業は基金による協力も有効だと思う。台風被害の際には民間からの寄附もあったが、御堂筋のみどりに対する常設の基金があればいいと思う。

2. 前回審議会での主な意見と対応方針

■ 各エリアマネジメント団体へのヒアリング

④ 船場倶楽部

- 連合振興町会・企業・有志が集まり、久宝公園で花火イベントを行っている。この地域はタワーマンションが多く、子供に花火をさせてあげられないとの住民の声を聞いて実現したもの。花火だけでなく火の取扱の啓蒙活動もセット。エリマネ団体であれば、もしくは地域コミュニティ活性を目的にするものであれば、占用使用料の免除や協議の簡素化などの緩和をしてほしい。
- 道修町まちづくりの一つとしてビルの屋上でぶどうを育て、ワインを作っている。環境への配慮に加え、ぶどうを育成して、楽しくまちの活性を図ろうという取組。3企業から始まり、現在7社で実施中。

2. 前回審議会での主な意見と対応方針

■ 各エリアマネジメント団体へのヒアリング

⑤（一社）ミナミ御堂筋の会

- 「万博」をキーワードとして、活動を加速させることができると良い。一方で、万博会期後も良好なマネジメントを継続的に行うために、ヒト・モノ・カネを確保する新たな仕組みが必要
- 路上喫煙などもあり、汚い場所もある。歩行者空間の整備に合わせて、環境美化の取組みは今後進めていきたいと考えている。
- 発足当初はみどりへの関心は高くなかったが、最近は少しずつ高まってきており、福岡市の「一人一花運動」のような取組みを行いたいと考えている。一方で、メンテナンスの財源をどのように確保するのが課題。

2. 前回審議会での主な意見と対応方針

《委員からのご意見》

- 御堂筋では環境視点の考え方が不足しており、根の張れる空間を作るのと同時に、雨水吸収の取組みについて方針に書かれていても良いと思う。
- SDGsの環境、防災の視点も入れた、御堂筋将来ビジョンのコンセプトにあったものにしてもらいたい。
⇒個別方針①の具体的方針（3）に植栽基盤改良による生育環境改善と都市環境改善への貢献を追記
- エリアマネジメント団体の構想や計画との連携・整合という言葉を入れておく必要がある。
- NPO 法人御堂筋・長堀21 世紀の会など各団体の地域や行政の合意を得て作られたビジョンを上手く取り込むことで、より良い緑化等の方針にすることが可能であり、地域の意見と合致した計画になると思う。
⇒個別方針③をまちづくり団体等とも協働した官民連携による質の高いみどりの創出に修正
- シカゴの街路では、高木は市が管理するが、店舗の前の植栽は店舗が管理している。沿道企業の方々に参加してもらえるみどりの場づくりのイメージを具体化できればと思う。
⇒個別方針③の具体的方針（3）を、緑化活動への参加促進のための仕組みづくりと情報発信に修正

3. 意見を踏まえた修正案

《御堂筋周辺地区の緑化等の方針（修正案）》

— 基本方針 —

大阪のシンボルストリートにふさわしい
風格あるみどり豊かな街路景観の形成

個別
方針
①

大阪の顔にふさわしい
御堂筋のイチョウ並木の
健全な育成

- (1) イチョウ並木の維持管理水準の向上
- (2) イチョウ並木ボリュームと緑陰の連続性確保による快適な歩行環境の創出
- (3) 植栽基盤改良による生育環境改善と都市環境改善への貢献

個別
方針
②

にぎわいがあふれ
回遊したくなる
みどりの創出

- (1) 交通結節点におけるみどりの演出と周辺への回遊促進
- (2) 多くの人を訪れにぎわいがあふれる歩行空間の魅力向上
- (3) 地区周辺の近代建築と緑の融合による魅力の向上

個別
方針
③

まちづくり団体等とも
協働した
官民連携による質の
高いみどりの創出

- (1) 地域をはじめ道路協力団体やエリアマネジメント組織による道路と沿道建物（公開空地）との一体的なみどりの管理
- (2) 企業・団体の協賛などの手法を用いた彩りと潤いあふれるみどりの創出
- (3) 緑化活動への参加促進のための仕組みづくりと情報発信